

星野リゾート トマム (北海道勇払郡占冠村)
 最低気温氷点下30度の幻想的な世界
 氷の街「アイスヴィレッジ」が2018年も登場
 営業期間：2018年12月10日～2019年3月14日

北海道最大級の滞在型スノーリゾート「星野リゾート トマム」に、2018年12月10日～2019年3月14日の期間、氷の街「アイスヴィレッジ」が登場します。アイスヴィレッジはリゾート内にあるホテル「ザ・タワー」より徒歩約10分の場所に位置している、3.2ヘクタールの面積に12棟の氷の壁でできたドームが並ぶ氷の街で、各ドームでは寒さや氷、雪をテーマとした体験が可能です。この冬からは、「氷のBooks&Café (ブックスアンドカフェ)」が新たに登場し、氷で作られた本棚や本物の暖炉が設えられた空間で過ごすことができます。その他、「氷のGAO (ガオ)」では、氷の楽器を演奏できるなど、寒さを生かしたアクティビティを豊富に取り揃えています。最低気温が氷点下30度にも達するトマムだからこそ実現できる、冬期限定の氷の世界です。



氷点下30度の幻想的な氷の街「アイスヴィレッジ」

冬の夜にだけ毎年オープンするアイスヴィレッジは、トマムの冬の風物詩です。1998年の冬に登場して以来、毎年進化を続けてきました。天井や壁も全てが氷でできた「氷の教会」と「氷のホテル」はアイスヴィレッジの一番奥に位置し、神秘的な氷の世界の象徴です。これらの先にあるアイスヴィレッジのメインストリート「氷のストリート」には、街並みが続くように氷や雪の壁に囲まれたドームが立ち並び、そこでは寒さを生かしたさまざまな体験を提供しています。

氷の世界での幻想的な体験

New 1 氷の本棚と本物の暖炉に囲まれて過ごす「氷のBooks&Café」



(1) テーマに合わせて新たに作られた内装

今回、新たに登場する氷のBooks&Caféの特徴は、氷の本棚に囲まれて氷のイスに座り、火が灯る暖炉を囲みながらゆっくりとくつろぐことができる点です。この暖炉は炎を特殊なガラスで囲んでいるので、氷でできている内装が溶けることはありません。また、ここにある本は寒い冬だからこそ心から暖まって欲しい、という思いを込めて選定されています。





(2) 雪や氷をテーマにした飲み物や軽食を味わう

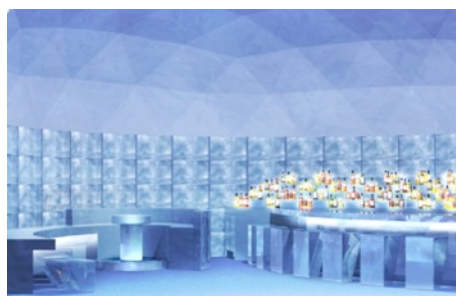
氷のグラスに入ったフレーバーアイスにミルクを注いで飲む「氷のラテ」や、かき氷など、雪や氷にまつわるさまざまなスイーツを楽しめます。このかき氷は器が氷でできているので、器まで食べることができる点が特徴です。また、「氷野菜のチーズフォンデュ」もおすすめの一品で、氷った野菜が氷のプレートで提供されます。この野菜を温かいチーズにつけ、ホクのチーズと共に味わうことができます。

New 2 寒さや氷にまつわる学びを提供「氷のGAO」



各地の自然あふれるフィールドで、学びたいという子どもの知的欲求を満たすアクティビティを星野リゾート リゾナーレで提供している「GAO」が、アイスヴィレッジに初めて登場します。この冬からは、氷の楽器の演奏や、シャボン玉を飛ばして凍らせる体験などが加わりました。また、毎年好評の氷を削ってオリジナルのグラスを作成する「氷のグラスづくり」や、雪の結晶に特殊な加工をすることでキーホルダーにする「雪の結晶キーホルダーづくり」なども実施します。

Power Up 3 氷でできた本格的なバー「氷のBar」



氷のBar（バー）には、氷の壁に囲まれた空間に氷のバーカウンターやイス、お酒を置く氷のセラーを設えます。この冬からは、飲み物のメニューをさらに充実させ、50種類以上のハードリカーやカクテルを氷のグラスで提供します。また、大雪山



の万年雪（*）の伏流水を使用した氷をカクテルに入れることも可能です。舌触りが柔らかなこの水は、延命長寿の水と言われており、日本酒「男山」の仕込み水としても使用されています。

（*）標高の高い山岳地帯で見られる、一年中雪が融けずに残ることを「万年雪（まんねんゆき）」と言います。日本では、北海道中央部にそびえる大雪山と富士山などにあります。

Power Up 4 氷の街の必需品が揃った「氷のShop」

氷や雪をテーマにした雑貨や、マグカップなどのアイスヴィレッジをイメージしてデザインされたグッズを用意しています。また、アイスヴィレッジのように氷点下30度にもなる環境でも、快適に過ごせるアウターや手袋なども取り揃えています。従来より規模を3倍に拡大し、幅広い品揃えが特徴です。



Power Up 5 氷の世界での宿泊体験ができる「氷のホテル」

氷のホテルは天井も壁も全て氷でできており、氷のベッドやイス、テーブルが設えられています。1日1組限定で行っている宿泊体験に参加した方だけが利用できる、「氷の露天風呂」と「氷の湯上がり処」も隣接しています。この湯上がり処ではこの冬から新たに、50種のホットドリンクレシピが用意され、お好みのものを自分で作る事が可能です。また、翌朝にはバーニャカウダや暖かいスープなどの朝食を召し上がれます。



6 継ぎ目のない一枚氷でできた幻想的な教会「氷の教会」

氷の教会は祭壇や十字架、バージンロードやイスも雪と氷でできており、更に「2人の純粋な気持ちが、途切れなく続く」という想いを込め、天井と壁は継ぎ目のない一枚の氷で作られます。氷の教会では約1か月間限定で挙式が行われ、挙式後には新郎新婦を祝う花火が氷の街を彩ります。



7 大人も子供も一緒に楽しめる氷上の体験「アイスリンク」、「氷の滑り台」

アイスリンクや氷の滑り台は、どちらも大人も子供も夢中になれるスポットです。アイスヴィレッジの展望台からはアイスリンクのすぐそばまで氷の滑り台で降りられ、アイススケート用の靴は貸し出しを行っているため、どちらも気軽に体験できます。





「アイスヴィレッジ」概要

- 期間：2018年12月10日～2019年3月14日
- 料金：入場料500円 *ザ・タワー、リゾナーレトママ宿泊者は無料
- *天候や気象条件により、期間や実施内容が一部変更の場合があります。*各ドームや体験は順次開始予定
- 時間：17:00～22:00 (最終入場21:30)
- 予約：不可
- 対象：宿泊者、日帰り共に利用可
- 場所：星野リゾート トママ エリア内
- *時間、料金、予約は各体験により異なります。

<氷のBooks&Cafe>

- 時間：17:00～22:00 (21:30ラストオーダー)
- 料金：氷のラテ1000円、かき氷2,500円、氷野菜のチーズフォンデュ5,000円 *数量限定 (いずれも税・サ込) 他

<氷のGAO>

- 時間：17:00～22:00 (21:00最終受付)
- 料金：氷のグラスづくり1,500円、雪の結晶キーホルダーづくり1,500円 (いずれも税・サ込) 氷のシャボン玉体験無料、他

<氷のBar>

- 時間：17:00～22:00 (21:45ラストオーダー)
- 料金：氷のグラス付きドリンク1,000円～ (税・サ込)

<氷のShop>

- 時間：17:00～22:00
- 料金：マグカップ1,500円 (税・サ込) 他

<アイスリンク>

- 時間：17:00～21:45 (21:30最終受付)
- 料金：スケート靴レンタル大人1,000円、小学生500円 (いずれも税・サ込)

<氷の滑り台>

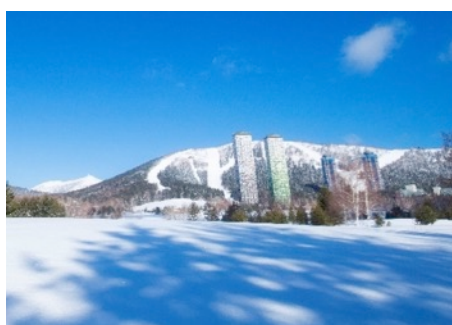
- 時間：17:00～22:00
- 料金：無料

<氷の教会>

- 期間：2019年1月19日～2月15日
- 挙式時間：17:00～、19:00～、21:00～
- 見学時間：17:45～、19:45～、21:45～、各回約10分間

<氷のホテル>

- 期間：2019年1月19日～2月28日
- 「宿泊体験」
- 時間：22:00～翌朝8:00
- 料金：1泊朝食付き 1名あたり23,000円(税・サ込)
- 料金に含まれるもの：氷のホテル1泊、氷の露天風呂、氷の湯上がり処、朝食、シュラフ、パジャマ
- 定員：1日1組2名まで
- 予約：2018年9月19日からホームページにて予約受付開始
- 対象：ザ・タワー、リゾナーレトママに宿泊で小学生以上の方のみ
- 「見学」
- 時間：17:00～21:30
- 料金：無料
- 予約：不可



星野リゾート トママ / 星野リゾート リゾナーレトママ

北海道のほぼ中心に位置する滞在型リゾートです。「ザ・タワー」「リゾナーレトママ」の2つのホテルを中心に、四季を通して北海道を体感できるアクティビティが楽しめます。

- 住所：〒079-2204 北海道勇払郡占冠村字中トママ
- 電話：0167-58-1111 (星野リゾート トママ 代表電話)
- アクセス：新千歳空港より車で約100分、JRで約90分 (南千歳駅乗換)
- 部屋数：735室 (ザ・タワー535室、リゾナーレトママ200室)
- チェックイン15:00～/チェックアウト～11:00
- 宿泊料金：1泊朝食付2名1室利用時1名あたり ザ・タワー15,000円～、リゾナーレトママ24,500円～ (いずれも税・サ込)
- URL：<https://www.snowtomamu.jp>